

# 黒皮種なしスイカの5月から8月における 安定出荷技術

～ハウス栽培の大果生産と盛夏期の着果向上～

千葉県では、「3X ブラックジャック」(ナント種苗、以下、ブラックジャック)が黒皮種なしスイカの主要品種となっています。

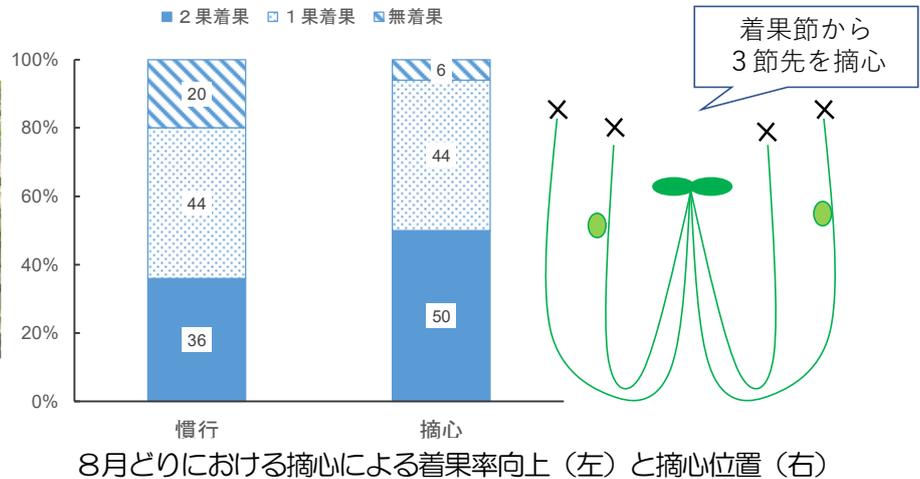
良食味の黒皮種なしスイカを5月中旬から8月までの長期間の安定生産を目指して試験を行い、特に栽培が難しい5月どりハウス栽培と8月どりトンネル栽培における安定生産技術を確立しましたのでご紹介します。

## 1 成果の内容

- (1) 果実が小さくなりやすい5～6月どりハウス栽培では、かん水を着果まで多頻度で行い、4番花以降に着果させることで果実肥大を促すことができます。
- (2) 梅雨時期の低日照時により着果不良が問題となりやすい8月どり露地トンネル栽培では、交配時の「摘心」により着果を促進させることができます。



ブラックジャックの果実



## 2 普及の状況

県内のスイカ産地 (富里市、山武市、銚子市など) で栽培されている

## 3 問い合わせ先 千葉県農林総合研究センター

水稲・畑地園芸研究所 東総野菜研究室 0479-57-4150

## 4 掲載年月 令和5年11月